

図書館メタデータ流通 カーリルの取り組み

2016/7/29 CALIL Inc. CC-BY



日本最大の図書館蔵書検索サイト

- 複数の図書館をまとめて検索
- 全国6700館以上の図書館に対応
- 民間企業（株式会社カーリル）が運営
- 2010年3月にサービスを開始

使える図書館はたくさんある

- 住んでいるところ
- 働いているところ
- 地元の大学・母校
- そもそも公共図書館は入場制限なし

すべての図書館をつなぐ

公共図書館の93%を網羅

The screenshot shows the Calil website, a platform for finding books across Japanese public libraries. The browser address bar shows 'calil.jp'. The website has a blue header with navigation links: '本のレシピ' (Book Recipes), '今話題の本' (Books in the Spotlight), '図書館マップ' (Library Map), '読みたいリスト' (Books I Want to Read), 'もっと見る' (See More), 'ログイン・新規登録' (Login/Sign Up), and '設定' (Settings). Below the header is a large blue banner with the Calil logo and a search bar labeled '読書術' (Reading Technique) with a 'さがす' (Search) button. The main content area features a large blue banner with the text '借りたい一冊、見つかる!' (Find the one book you want to borrow!). Below this, it states: 'カーリルは全国6,000以上の図書館からリアルタイムの貸出状況を簡単に検索できるサービスです。' (Calil is a service that allows you to easily search for real-time borrowing status from over 6,000 libraries nationwide). At the bottom, there are three icons: a map of Japan, an open book with a '貸出可' (Available for borrowing) tag, and a checklist of features: '蔵書' (Collection), '絵本' (Picture books), '1GB4', and '蔵書数' (Number of books). On the right side, there are social media links for Twitter, Facebook, and Google+, and a section titled 'みんなが読みたい' (Books everyone wants to read) with book covers. Below that is a section titled '新着"本のレシピ"' (New "Book Recipes") with a list of books: '住めば都' (Where you live is your home), '成人おめでとう!' (Happy birthday to adults!), and 'もっと見る' (See more). At the bottom right, there is a section titled '今日のいいね! レシピ' (Today's Like! Recipe) with a list of books: 'カメラを手に取って...' (Pick up the camera...).

カーリル | 日本最大の図書館検索

calil.jp

Gmail(個人) Gmail(カーリル) Analytics ドライブ グループ 中津川市 カーリル管理 中津川子育てマイページ YouTube その他 発注先等

本のレシピ 今話題の本 図書館マップ 読みたいリスト もっと見る ログイン・新規登録 設定

日本最大の図書館検索

カーリル

読書術 さがす

借りたい一冊、見つかる!

カーリルは全国6,000以上の図書館からリアルタイムの貸出状況を簡単に検索できるサービスです。

蔵書 絵本 1GB4 蔵書数

みんなが読みたい

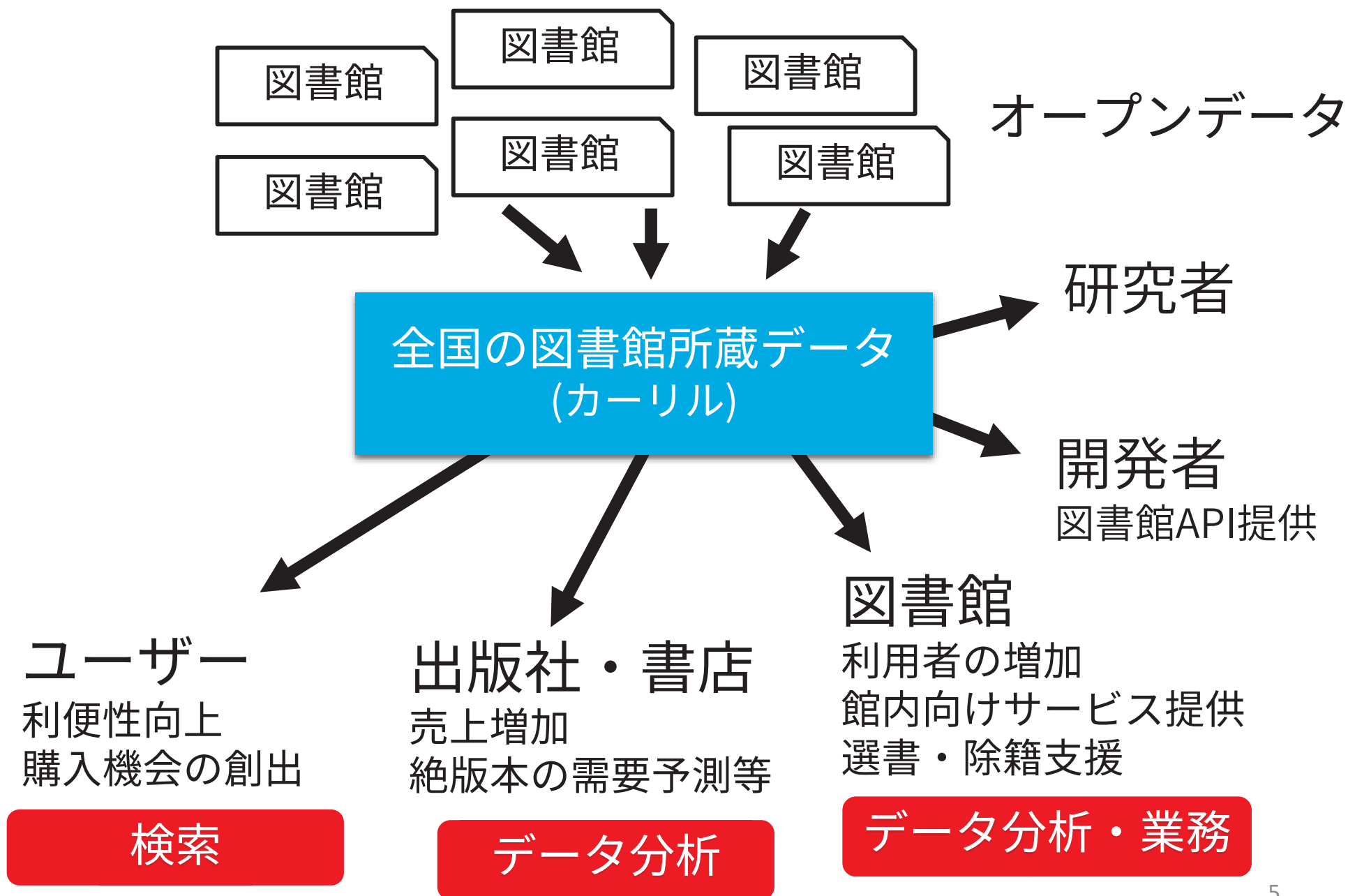
新着"本のレシピ"

- 住めば都
- 成人おめでとう!
- もっと見る

今日のいいね! レシピ

- カメラを手に取って...

図書館をもっと楽しく



カーリルが提供するAPIの考え方

- 「所蔵情報」への統一的なアクセスを確保
- APIファースト
 - （自らのサービス運営に必要なAPIをそのまま公開する）
- ストックではなくフローを重視
 - 高速なAPI
 - 使いやすいAPI
 - ニーズに直結するAPI

どこから始める？

- ディスカバビリティに当事者メリットはない
(カーリル開始時…忙しくなるのは困る)

→この点において図書館とは心地よい緊張関係 (=しかたない)

- 網羅性が無ければ利用者メリットはない

★メリットが無いことを「メリットがある」と言い切るのは無理がある

横断検索のニーズ

- ・ 初期段階では横断検索へのニーズは少ない
- ・ カーリルは「横断検索」とは言わない

→ 近くの図書館の本を簡単に探したい!

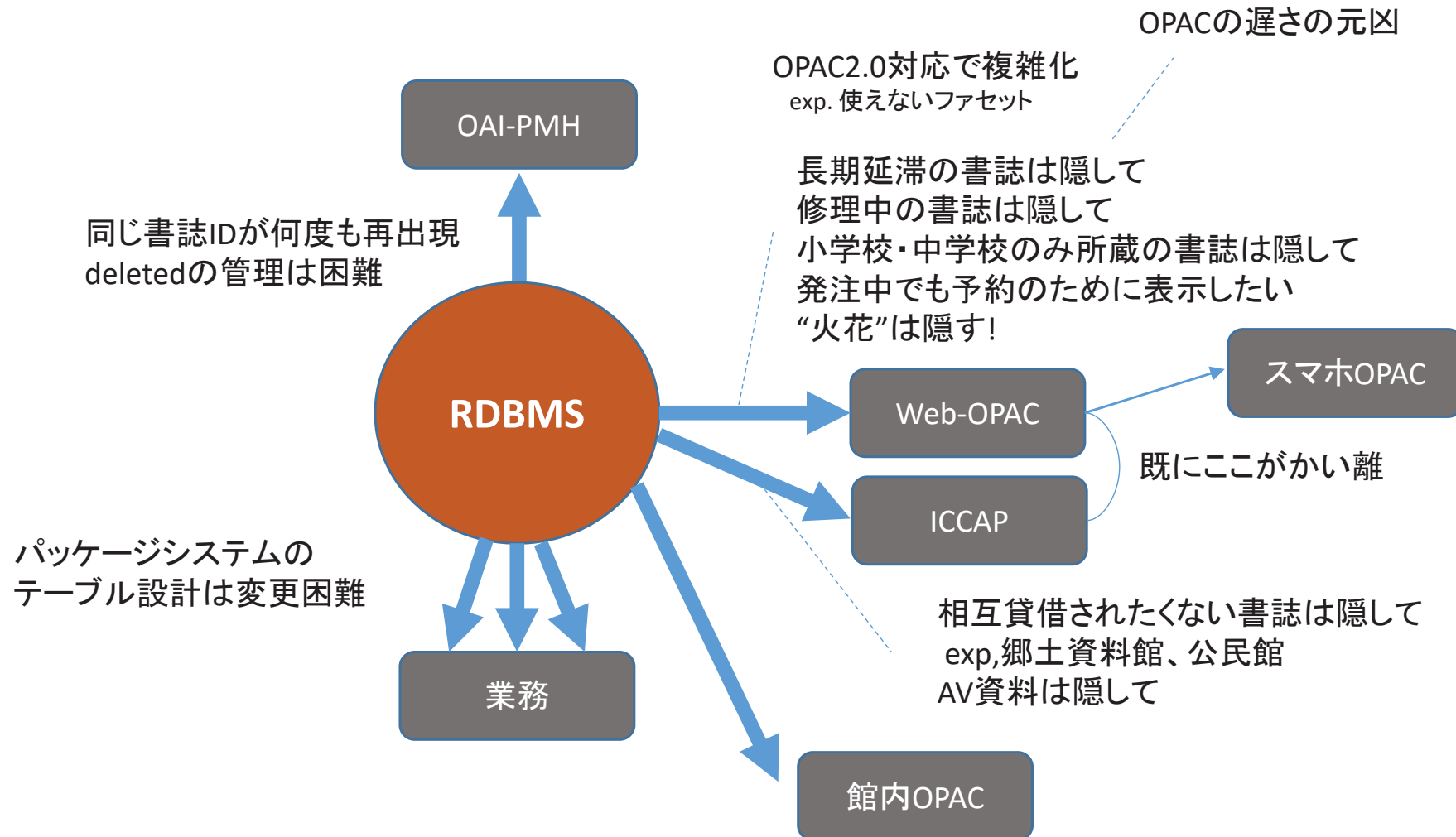
→ 日本最大の図書館検索サイト

住んでいる町、働いている町、
通っている大学の図書館をまとめて検索

・・・ 1館のみ指定しているユーザーが全体の4割程度

信頼できないAPIと実装の困難性

(図書館システムの内部構造)



現時点では、ウェブスクレイピングが最も低コストで正確

データ提供元にマッピングを押し付けない

集めるひとが、集めたいように集める。

カーリルは全データに責任を持つ。その方が低コストで正確。

図書館とカーリルのニーズは違う。

ストックとフローの分離

ストック（元データの管理）は各図書館が責任を持つ。

カーリルは、フロー（流通）にフォーカスしている。

速度・タイミング・想定するアーキテクチャ・コスト
機能の恣意的な誘導

低コスト＝速い＝使いやすい

ウェブサービスにおいては、速度がすべてを解決する。
速ければ高速にスクレイピングして二次サービスが展開できる
＝500以上のアプリ・1日300万件以上の呼び出し

もし作ろうとしているものが”高コスト”であれば、それは遅くて使えないものである可能性が高い

十分に低コストであれば、 統合される必要がない

新しいAPIをもとに、古いAPIをエミュレートして提供している
＝6年前のAPIもそのまま使える

用途に合わせたAPIや、メタデータがいくらあっても問題はない
継続性の保証が重要

メタデータ流通の低コスト化

